

LipoTEST Case Report Vol.11

2011年9月

Case11: 食事療法および脂質代謝改善薬の治療により高LDL血症が改善されたヨークシャー・テリアの1例

【Profile】

・動物種: 犬 ・品種: ヨークシャー・テリア ・性別: 雄(去勢済み)
・年齢: 9歳 ・体重: 2.5kg ・B.C.S = 2/5(体重不足)

病歴:

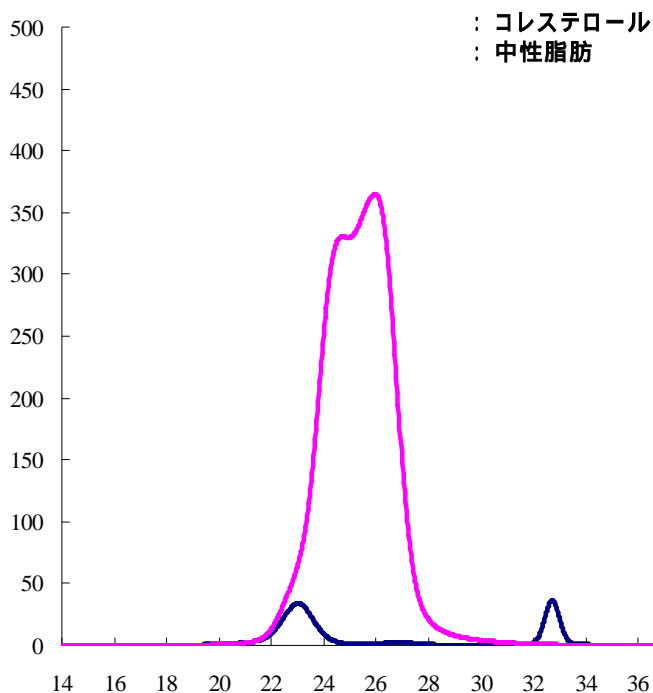
原因不明の後大静脈狭窄を発症し、腹水貯留も確認された。また院内検査にて次第に高脂血症の進行が疑われるためLipoTESTにて詳細を検査。

【検査】

院内検査
身体検査
腹部膨満、腹水貯留、やや消瘦、食欲低下

血液検査
脂質の異常高値(T-Cho =404mg/dl)

LipoTEST検査所見(1回目)
分類: パターン1・LDL増加型
T-Cho(385mg/dl)、LDL-Cho(142mg/dl)
およびLDL-TG(42mg/dl)の異常高値。



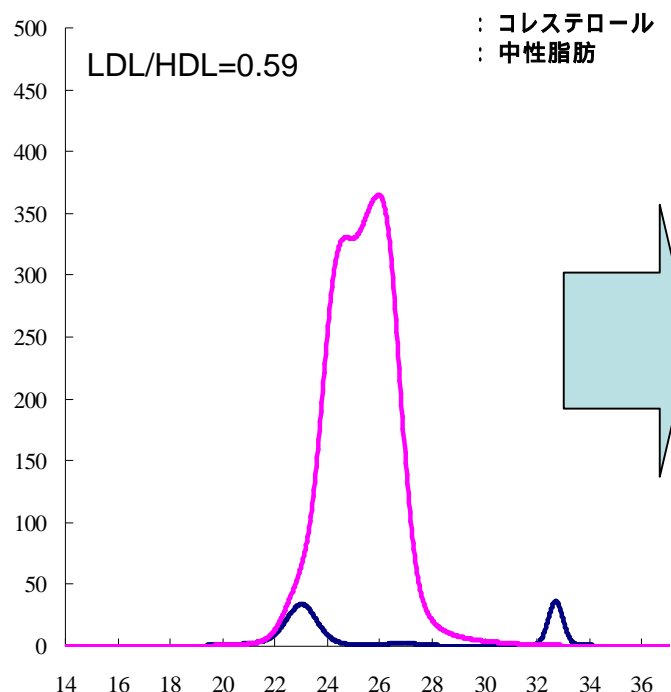
【治療計画】

- ・ LipoTESTの結果から、LDL増加型であることが判明した。
- ・ T-Choの高値(404 mg/dl)が認められたため、低脂肪食による食事療法を開始した。投薬については第7病日より投与を開始した。
- ・ 第7病日よりプラバスタチンナトリウム(0.9mg/kg SID 夜間)を投与したところ、第24病日にはT-Choの低下(249 mg/dl)が認められた。しかし、第38病日には再度T-Choの増加(300 mg/dl)が認められ、第86病日には342mg/dlまで増加したため再検査を行った。

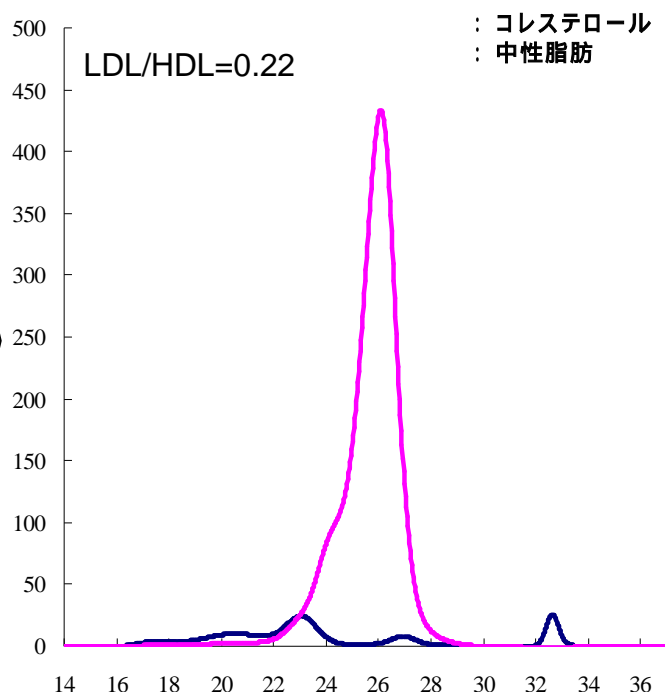
裏面に続く

【LipoTEST 波形データの変化】

～ 1回目結果 ～ 第1病日



～ 2回目結果 ～ 第86病日



【解析結果に基づく治療への評価】

- ・1回目のLipoTESTの結果から、LDL増加型の高脂血症と診断し、食事療法とプラバスタチンナトリウムの投与を行ったところ、T-Choの明らかな低下が認められた。
- ・しかし、同様の治療を行っているにも関わらずT-Choの増加が認められた為、プラバスタチンナトリウムの増量も考慮に入れたが、念のため再度LipoTESTを実施した。
- ・その結果、悪玉コレステロールであるLDL-Choは明らかに正常化しており、T-Choの増加の原因はHDL-Choの増加であることが判明。投薬による臨床症状の改善と一致した。
- ・高脂血症の治療方針や投薬量を決定する上で、LipoTESTは非常に有用な検査であった。

症例提供：宮崎大学 農学部付属動物病院 鳥巢至道先生（宮崎県）

LipoTESTに関するお問合せ先
スペクトラム ラボ ジャパン 株式会社

* 検体送付キットの請求は、下記記入のうえ、FAX (03-5731-3631)にてご返送下さい。

病院名		氏名	
住所		TEL	

詳しい情報に関しては、LipoTEST Webをご覧ください。URL: <http://www.lipotest.jp/>